第5回 青森TOMBOW CUP U-11 サッカー大会

開催目的	TOMBOWカップU11サッカー大会を通して、少年・少女の健全な育成を図る。 また、選手や指導者の交流を深めながら、本大会でのサッカー競技を楽しむ。
主　催	青森市サッカー協会 4種委員会
主　管	青森蹴球育成会　青森FAMILY 蹴球会
後　援	株式会社 神山　　トンボ学生服
期　日	2026年8月15日（土）、16日（日）
会　場	青森市マエダアリーナ 多目的運動場 (旧アーチェリー場)
参加資格	4種登録選手チームで、一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。 ※2015年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。 ※入団まもない6年生(初心者)や新規登録を目指すチーム・スクール等も可とする。 ※5年生以下で8名揃わないチームは6年生の出場も認める。
チーム構成条件	①参加チームは傷害保険に加入していること。 ②チーム構成は選手エントリー16名以内とする。 ③選手は健康であり，保護者の同意のある者に限る。 ④引率者は当該チームを掌握指導できる指導者であること。 ⑤予め了承を得ているチームは、保護者様の引率指導も可とする。 ⑥本大会に参加される子どもたちの写真をスポサポドットコム（速報サイト）での使用に同意できるチーム。
大会形式	（1）参加チームを4グループに分け予選リーグを行い、各グループの上位2チームは決勝トーナメントへ進出する。 下位2チームはフレンドリートーナメントへ進出する。 （2）リーグにおける順位の決定方法は、勝ち３点、引き分け１点、負け０点の勝ち点により、勝ち点の多い順に決定する。なお、勝ち点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。 ①得失点差②総得点③当該チーム同士の成績④PK戦もしくは抽選
競技規則	大会実施年度の（公財）日本サッカー協会「8人制サッカールール」による。 ※本大会は試合開始時に7 名でも可とする。
競技規定	(1) 試合時間は24分(前・後半 12分)、ハーフタイムのインターバルは5分とする。 ①交替人数：8 名までの自由な交代を適用する。 主審，補助審判の承認を必要としない。（一度退いた競技者も再び出場でき，何回でも交代可能とする） ②交替ゾーン：ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交替ゾーンを設ける。 (ハーフウェーラインを挟んで3mずつ) ③飲水タイム：ＪＦＡ熱中症対策ガイドラインに従い、設ける場合がある。 飲水タイ ムの有無を，事前（前・後半開始前）に両チームへ通告する。 飲水の中身は水のみとしスポーツドリンクは不可とする。 （2）ピッチ ①大きさ：原則として、68m×50m センターサークルの半径：7m ペナルティエリア=ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点から ゴールライン上に直角12m ゴールエリア=ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴール ライン上に直角4m ペナルティマーク＝8m ②守備側競技者のボール等から離れる距離 フリーキックの際の壁との距離＝7m （3）競技者の数 競技者の数：8 名 交代要員の数：8 名以内 （4）チーム役員の数 ベンチ 3 名以内 ライセンス保持者以外の方もベンチに入る場合は、ピッチに向かってのコーチングは 一切禁止とし、ベンチまでの誘導・退導やベンチ内でのサポート対応のみとする。 （5）テクニカルエリア 設置しない （6）試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合はPK戦） 決勝は6分間（前・後半3分）の延長を実施する。 延長戦に入る前のインターバルは3分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間。 （7）警告・退場 ①本大会期間中、警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。 ②本大会において退場を命じられた者は次の1 試合に出場できず、以降の処置 については、大会本部にて規律・裁定会をし、決定をする。

（8）選手の用具

①本大会は、チーム練習着も可とする。

②当該チーム同士で着用するユニフォームが同色に近い場合は、どちらかが着換えるか、主審に確認してビブス対応も可とする。

③ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

④GK はビブス着用でも可とする。ショーツ・ソックスの色はFP と同色でも構わない。

⑤アンダーシャツ・アンダーショーツ・タイツ等を着用する場合、色はチームで統一されていれば可とする。

開会式　　実施しない

閉会式　　閉会式(表彰式)は決勝戦終了後に、上位4チーム。

表彰　　優勝～3位までトロフィー、優勝～4位まで賞状あり。

参加費　　1チーム　6,000円 (2チーム目参加時は 4,000円)

その他　　・会場および会場付近でのチーム関係者(応援の保護者等)の動向は、各チームで徹底すること。

・不足の事態が起きた時には、早急に大会責任者に連絡をする。

問い合わせ　　大会責任者　田中　智幸

事務局　川村　武寛